

大阪港駅(地下鉄中央線)②

いざ日本一低い山・天保山の頂きへ!



「大阪あそび歩マップ集」
その2 No.065

地下鉄大阪港駅

①piaNPO

大阪市港湾局の旧庁舎を利用した建物で、アジア初の大規模な国際交流・国際協力NPO(非営利組織)の拠点施設となっています。

②築港ダイヤモンドポイント

古代から大阪(難波津)は西に海を抱き、夕陽の美しい場所として有名でした。上町台地や船場といった市内中心部は高層の建物が立ち、なかなか夕陽が見られなくなりましたが、築港ダイヤモンドポイントからは現在も大きな夕陽が海に沈んでいく「おしてるや難波津」の光景を見ることができます。

③天満屋ビル

昭和10年(1935)竣工。元は回漕店の社屋兼居宅として建設されました。このビルは商船三井ビル同様に整備された際、1階が半地下状態になったので2階のバルコニーだったところへ階段を取り付け、玄関にしています。現在は喫茶店なども入ってレトロビルとして愛用されています。



④商船三井築港ビル

昭和8年(1933)竣工。3階建てですが、正面に見える玄関のところが元の2階になります。2度の台風の影響で、前の道が

盛り土されて、1階だったところが半地下のようになりました。いまは1階(以前の2階)はギャラリーとして使われています。

⑤マーメイド像

コペンハーゲン港にある「マーメイド像」は、世界各地から観光客が訪れる観光名所にもなっていますが、そのマーメイド像が大阪港にあります。じつは大阪港とコペンハーゲン港は平成6年(1994)に交流港となり、その友好を記念してビール会社のカールスバーグ社から寄贈されたものです。

⑥日本一低い山・天保山

天保2年(1831)、淀川が運ぶ土砂堆積で、大坂市中に船が入れなくなったので浚渫が行われ、その土砂で築山されました。当初は十間(約20メートル)ほどの高さで、高灯笼(灯台)が設けられ、「目印山」と呼ばれたといいます。やがて桜を植えて茶店が設置されると大坂でも有数の行楽地になりました。戦後は地下

水汲み上げの影響で地盤沈下が起こり、昭和46年(1971)には標高7.1メートルだったのが、昭和52年(1977)には4.7メートルまで低下しました。現在は4.53メートルで留まっています。平成5年(1993)、地形図から山名が抹消されましたが、地元の熱的な要望によって平成8年(1996)に再掲載されました。国土地理院発行の地形図に、山名とともに載っている山の中では日本一低い山です。山頂に二等三角点があります。



地下鉄大阪港駅

